

稲山会 通信

第 6 号

2001年12月1日発行

発行人：井村英明 発行所：稲門山の会事務局 TEL03-3367-3723 FAX03-3367-8150 ©稲門山の会1998

稲門山の会のホームページを開設

ホームページ（HP）提起に応じて卯月さんが起ち上がり4月に開設された。会員のEメールアドレス調査も並行して進められたので現況等を報告します。

1. 稲門山の会のホームページ

稲山会HP計画を知ったのは今年2月の新年会の席だった。現役会員の入会に結び付けたいとの市村代表の熱弁に協力することになった。それからの準備に余裕はなく、新人勧誘開始の入学式（4月1日）にやっと間に合わせた。

当初新勤が主眼であったが、現役山の会もHPを立ち上げたことから、稲山会HPの役割はOBG会員の情報交換と現役支援に変わってきた。その後、現役HPがOBG-HPと早稲田大学のHPの双方にリンクされたので、新人候補者など一般からのアクセスも可能となり、漸く、新勤に寄与できる基盤として整った。発信情報の広がりには想像以上になると思われ、責任を感じており、諸兄のご教示をお願いします。

次にHPの内容を紹介します。でアクセス件数は700件（10月23日現在）を超えました。「会の紹介」、「会員のページ」、「山行紹介」及び「行事の計画」などを中心に、現役支援を絡めて、「新人募集」、「早稲田大学山の会の紹介」、「新部室の紹介」、「前会長メッセージ」などを掲載しています。「会員のページ」は会員専用で、「掲示板」があり、好きなことを書き込めます。「ご意見コーナー」でもお待ちしております。是非活用ください。

●今後、皆様の期待・ニーズにあわせて、HPの構成も改善していこうとしています。魅力あるHPに発展させるため、皆様の積極的な活用とアイデア・ご意見をお待ちしています。

◎稲門山の会ホームページURL

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~wms/index.htm>

◎「掲示板」への入り方

HPの「OB、OG会員のページ」で、「パスワードの所定の文字」として、「ichimura」と入力することによって入れます。（ただし、会員外には知らせないで下さい。）

2. メールアドレス調査の現況

アドレス調査結果、110名分（10月末現在）判明しました。ご協力にお礼申し上げます。会員番号200番以降などに未調査が残っています。一層のご協力をお願いします。

（笠原 豊 S.39）

四季の彩りの中で一白馬村での暮らし

初めてこの地を訪れたのは山歩きやスキーを始めた20代の初めであった。

社会人になり、東京、北九州、海外と転勤生活を送る間にも、四季折々に訪れ、特にこの地でのスキーは年中行事になっていた。

この辺りに住んでみたいと思い始めたのは、50代になり、そろそろ定年後の生活が気になりだした頃だった。3000メートル級の山々を真直に望める所、汐の香をかぎたくなれば日本海に1時間で出られるのも魅力の一つ、青春の故郷ともいえる新宿も特急で一直線等々単純な思いつきからだった。

退職を早めに決めて、社会人生活最後の地、北九州市から12月中旬、雪タイヤを付けて走り、すでに積雪30センチの白い冬からここでの暮らしが始まった。

山歩きやスキーでしか知らなかった雪国の暮らしや、全てがゼロからの出発であった。早速、長靴、スコップなど、雪国仕様の生活用品の買い出し、見聞きするもの、出会う人、初めての事ばかりで、周囲の人達に教わりながら雪掻きに明け暮れた冬。3月になって雪が解けはじめ、初めて地面が見えた時の嬉しさは忘れられない。

それから瞬く間に7年が過ぎた。雪国暮らしも、今ではようやく人並みにこなせるようになったつもりでいる。

雪解けの音が聞こえる春の言いようもない喜びは雪国に住んでみないと分からない。完全に雪が消えるのは5月初め、大山桜、こぶし、かたくりの開花に始まり、木々の芽吹き、眩しい程の緑。

爽やかな夏、標高800メートルの林の中では、西日に当たっての昼寝が心地よい。高山の花々も華やかさを競い、街からの人出で村は賑わう。

8月も半ばを過ぎると秋風が吹き始め、9月下旬には山の稜線から始まる紅葉が次第に駆け降りてくる。10月も終わる頃、里の林も最後の輝きを見せ、峰に何度か新雪が覆うようになると、いよいよ冬支度。庭木の雪囲い、家の内外の手入れなどで忙しくなる。野沢菜の漬け込みが済むと、時雨模様の日が多くなり、12月に入ると里にも雪が積もり始める。

朝に夕に岳を仰ぎ、季節の移り変わりに沿った暮らし向きは心地よい。

5月末から11月初めまで、中部山岳国立公園第一種保護地域である標高2000メートルの栂池自然園で、自然解説、園内整備などのボランティア活動をする間に、社会人の間殆ど手にしなかったカメラを持ち、周囲の花や山野の佇まいに魅せられて動き廻る。家での空き時間は焼き物造りに精を出す。

畑には、自然に任せた少々野菜作り、短い夏の収穫の数々は冬の貯蔵野菜にも十分間に合う。魚津から直送の富山湾の新鮮な海の幸、春の家の周りの山菜、秋のきのこや木の実など季節の旬を味わう喜び。

天候次第でその日の行動が決まっていくオールフレックスタイムの暮らしだから、前の晩の天気予報を見て、山行の声も懸かる。

近いと思っていた新宿も、近くの新宿も、近くの新宿も、近くの新宿も余程の用事がない限り出掛けない。たまに出掛けた折しも、峠を越え、白馬の山並みが目に入るとほっとする。

稜線が根雪に変わり、今年もまた冬ごもりの時季を迎える。雪の厳しさを生活の中に知る程に、雪国ならではの自然の中にある喜びは大きく、まだまだ興味尽きない日々である。
(小久保一郎 S.36)

山の会未だ卒業できず

昭和48年、多くの友人が東京で就職する中、一人寂しく(?)郷里山口県に引き上げて来て早27年が過ぎようとしています。

大した経験のない私が、3人の先輩と一緒に、パキスタンのヒンズーラジ山系の未踏峰、ツイ1峰に挑み、多くの貴重な経験をさせていただいたことが、それからの人生に大きく影響しております。

郷里山口は、高い山もなく登山人口も多くはありませんが、私の所属した宇部山岳会は海外に向けても積極的に山行を重ねており、アラスカ、ロッキー、ニュージーランド、タスマニア、韓国など多くの山行を楽しんで来ました。

結婚、子育てと一時期、山から遠ざかった時期もありますが、最近では、縁あって韓国の友人達との合同登山を楽しんでいます。

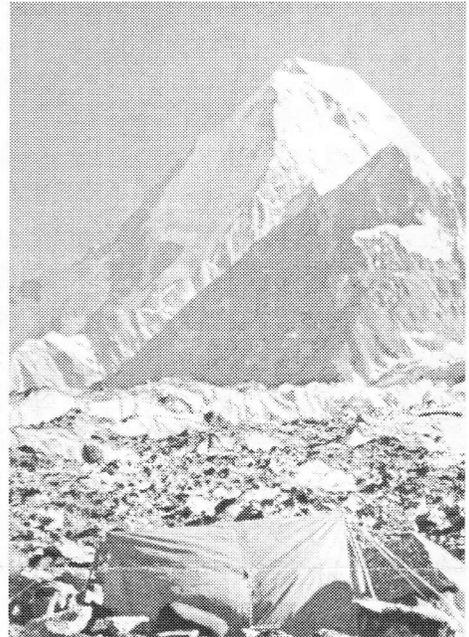
韓国には高い山はありませんが、溪谷はきれいで、特に冬の氷壁は素晴らしいものがあります。

また、自分が年を重ねるとともに、日本全体が中高年の登山ブームを迎え、私もいつの間にか市民のための登山講座、ハイキングのお世話をするのが日常になってきました。

それにつけても、山の会で諸先輩に教えられ、▲ツイ1峰 鍛えられた事が経験としてどれだけ役に立っているのか図りしれません。思い出すのは苦しかった合宿の事が大半ですが、今となれば何と楽しい思い出であることでしょうか。

何時までも20歳の気持ちが抜けないのを、逆に楽しんでいる毎日ですが、今年から、山口県山岳連盟の副会長も引き受け、国体、日本山岳協会、県内団体との調整も大事な仕事となってしまいました。これも年齢のなせる技かも。

最近の山の会の様子を拝見し、隔世の感がありますが、現役の皆さんの活躍を祈っております。
(西山一夫 S.48)



最近では9月27日に役員会を開催し各議題につき討議しております。また最近の話題を報告致します。

(1) O B G 会員のEメールについて

卯月、笠原両幹事の努力で、現在約110名の会員のメール・ナンバーが判明している。またこのメール網を利用して各会員にインフォメーションを発信している。この様に会員間の通信連絡または役員会等からの連絡が早く、同時に多数に発信出来るので、非常に有効な手段である。今後の利用方法等について更に検討したい。しかしメールを持っていない会員も多いので、伝達の公平性から正式な伝達手段は稲山会通信とする。

(2) 新任山の会会長

濱田政則理工学部教授に会長先生をお願いした。山の会の現況は濱田研究室の学生を中心として会員活動をし、大学にも正式登録をして維持している。新学生会館にも新部室を確保することが出来た。濱田先生は1966年卒の気象部出身で、現役時代には春山合宿の南アルプス全山縦走の全山縦走メンバーとして活躍したOBです。今年の夏も学生達と穂高岳に登っております。

(3) 山の会創立45周年の記念行事

開催時期は2002年の予定で行事内容、時期等の詳細は今後検討する。役員会とは別チームとし、取り敢えず準備委員として早川、鈴木(明)、井村、西山等が企画の原案をたてる。催しの内容として1) 東京でのパーティー(家族同伴等)開催 2) 記念山行 3) 記念品の作成等の案が考えられますが、会員のアイディア、担当委員の希望者を募集する事とした。

◎現役へ山の道具、山の書籍等の寄贈のお願い

新部室開設にあたり、金子OBからエプソンのパソコン1式、高野OBから開設祝い寄付等をいただきましたが、現在新部室には最低必要な山関係のものは何もありません。つきましてはOBGのなかで、当面使わない山道具、古い山の書籍等がありましたら、ご寄贈頂ければ大変助かります。金銭の寄付等のご意見もありますが、これは今後の状況で判断させていただきます。送料は申し訳ありませんが、各自ご負担してください。

寄贈戴ける場合は事前に下記のうちの1カ所に連絡を入れて下さい。

* 連絡先：メールの場合は笠原幹事：kasahara-mame@nifty.ne.jp

役員会は井村幹事：imurahide@aol.com tel/fax:045-825-1259

現役は栗田幹事長：601f071@mn.waseda.ac.jp

送付先は：169-8555東京都新宿区大久保3丁目4番1号

早稲田大学理工学部土木工学科濱田研究室気付 早稲田大学山の会

Tel: Fax: 03-3208-0349

◎45周年記念行事についてのお願い

役員会報告でもふれましたが、記念行事につきまして行事担当の幹事としてお手伝い頂ける方、また行事の内容についてのご提案、ご希望、ご意見等につきまして建設的なご意見でしたら何でも結構ですので、下記にお願い致します。

連絡先：井村幹事：244-0801横浜市戸塚区品濃町553-1-E303

Tel: Fax: 045-825-1259

E-mail: imurahide@aol.com